



人権教育だより

京丹後市立大宮中学校

令和6年7月9日

No.6



人権学習を通して 考えたこと

3年生



これまで3年間人権学習をしてきて、いじめがどれだけ酷くて怖いものかを学んだ。学習しなくても、一般的にはいじめはしてはいけないことだと分かっているのに、どうして起きるのだろうと思った。

毎年似たような学習をするけど、今年は加害者の心境についても学んだ。「卒業文集最後の二行」では、話の中の加害者が後悔をしている様子だったが、世の中そんな風に思える人ばかりでないと思った。でも、もしみんながそういう気持ちでいるなら、傍観者が止められる可能性があると思う。傍観者っていうのは周りの生徒だけでなく大人も同じ。私には止められる勇気や嫌われる勇気がない。だから「明日、みんなで着よう」の話の中の人たちはすごいなと感じた。私は相手の気持ちを考えて行動できる人になりたい。

相手の気持ちを考える大切さを学び、自分が冗談で言った言葉でも相手は本当に傷ついてたかもしれないと、これまであまり考えずに言葉を使ってきたことに気付いた。よく考えれば、気持ちを考えていない言葉を言われたら自分だって嬉しくないのに相手が嬉しいはずがない。だからこれからは相手の立場に立って傷つけない言葉を使っていきたい。

3年生は1, 2年生で学習してきた内容の再確認の上に、「いじめは卑劣な行動であり、してもよいいじめはない。いじめをする人は卑劣であり、傍観者も卑劣である。このことを認識したうえで何が大切か」を考えました。また、絵本「ことばのかたち」から「言葉」が持つ力について考えました。

今回は3年生の学習と考えたことを紹介します。(文章は一部編集しています)

言葉には使い方次第で良い意味も悪い意味もあり、また言った人と聞いた人で意味が違ってしまうように感じるので言葉の使い方には十分気を付けないといけない。

言葉を使うことは誰にでもでき、とても簡単なことだけど、責任を持って使わないといけないと思う。言葉は文字と違い形がなく残らないものだからこそ、使い方に気を付けていきたい。また、言葉の意味や受け取り方はそれぞれ違うので誤解されないように気を付けたい。

人権学習を受けて、まず言葉から直した方が良かったと思った。悪気なく言った言葉に相手が傷つくかもしれないことを知った。言う前にしっかり考えて言葉にすることが大切だと思った。

一番印象に残ったのは「ピンクシャツデー」。人の価値観をバカにしている人を見て、間違っていると行動に移した男の人がかっこいいと思った。価値観は人それぞれだし、みんながピンクのシャツを着て登校したことが仲間思いだと感じた。自分も個性を尊重したい。

人が発する一つひとつの言葉は相手の一生の心の傷になることもあり、また相手を幸せな気持ちにさせることもできるということを知った。だからこそ自分がしゃべる言葉を考えて、いじめにつなげないことが必要だと思った。また、いじめから後悔するのでは遅いし、どうすることもできない時もあるから絶対にやってはいけないことだと改めて感じた。いじめを知った傍観者が仲裁者やその被害者に寄り添うことが大事だと思った。いじめがない世の中にしていくことも大事だけど、いじめをみんなで乗り越えていくことも大事だと思った。

人は一人ひとり性格も違うし個性がバラバラ。同じものにも感じ方や価値観も違うから一緒に生活する中でぶつかることもあるけど、それでも協力し助け合って生きていくことが大切だと思う。そのためにまずは「言葉」が大事だと思う。口に出さないと思っていることは伝わらないし、意外なことが分かるかもしれない。そういう発見があるからこそ言葉はとても大切だと思う。でも何でも言っているわけではない、一人ひとり思っていることが違うように、いくら仲が良い友達でも踏み込んではいけない部分もあると思うので気を付けた。

思いやりさえあれば、相手が傷つくことも自分が傷つくこともなくなると思う。それは行動だけでなく、言葉もそうだと思う。目に見えないだけで、悪い言葉はとがっていて簡単に相手を傷つけるから一つひとつの言葉に責任を持たなければいけない。だから会話は単純なものに思えてすごく難しいものだと思う。

うまく会話ができないことでいじめも起こってしまうと思った。いじめをされる側の人に逃げ道を作れるように周りの人を頼ることも大切だと思った。相手を傷つけるのも人だけど、その傷を癒すのも人だから、どちらの人になりたいかはみんな同じであってほしいと思った。

特に印象に残ったことは、人を傷つける言葉の形を「針」に例え、痛々しいイラストと共に描かれていたこと。思いもよらぬ言葉や自分は傷付かない言葉だとしても相手には針が刺さっているかもしれないから、言葉の重さを理解して気をつけていこうと思った。

人権学習を通して人の温かさや言葉の大切さを学んだ。今後も相手の気持ちを考えて行動していきたい。

人権アンケート「自分には良いところがある」の結果です。左は昨年12月、みなさんが2年生の時です。右は今年5月。比べてみると、「あてはまる」の回答が約2.6倍伸びています。これはとても素晴らしいことです。自分を見つめ、自分の良いところに気付いているからこそ、今回の人権学習で大切なことに気付くことができました。人権学習での学びを次は行動へとつなげていこう。

